

1 英語学概論Ⅱ

【講師】	村尾 治彦
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 1時限目（8：40～10：10）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

2 Junior Seminar B-II

【講師】	萱嶋 崇
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。

【テキストについて】

『英語の主要構文』（2,800円＋税）（中村捷、金子義明〔編〕、研究社）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

3 英語教育講義

【講師】	吉井 誠・Richard LAVIN
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人数】	3名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級／専門

英語教育とはどういうものか、どのような学問でどのような研究を行うのかを紹介する。英語教育、並びに第二言語習得、CALL（コンピュータ支援言語学習）などの関連分野の概要を知ることが目的とする。授業の中で英語が使用されることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

4 英語Ⅵ（d）

【講師】	李 世恩
【日時】	10月3日～・毎週木曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	2名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級／一般教養

この授業は英語リーディングスキル向上を目標とした授業です。英語能力 TOEIC500点レベルぐらいが望ましいです。

【テキストについて】

『ACTIVE2: Skills for Reading, Student Book. 3rd ed.』（3,070円＋税）（Geographic Learning）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

5 中国語発展Ⅱa

【講師】	山田 俊		
【日時】	9月27日～・毎週金曜日 2時限目（10：20～11：50）		
【募集人数】	5名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級		

中国語の原書（発音記号・語注はなし）を読み、正確な日本語に翻訳します。中級程度の理解力が必要です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

6 中国語基礎－b 週2回

【講師】	岡村 真寿美		
【日時】	9月27日～・毎週木・金曜日（週2回） 1時限目（8：40～10：10）		
【募集人数】	若干名	【受講料】	10,000円
【講義内容】	初級		

前期「中国語入門B－b」の続きです。中国語を半年程度学んだことのある人を対象とします。中国語の基本パターンを基礎として、より複雑な文法を学んでいきます。

【テキストについて】

『初級 中国語でもてなし 改訂版』（2,400円＋税）（金星堂）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

7 日本語学概論Ⅱ

【講師】	半藤 英明		
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）		
【募集人数】	5名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門		

日本語日本文学科1年生の必修科目です。日本語に関するこれまでの研究成果を振り返り、その研究方法を学ぶと共に、問題点と今後の可能性を考えます。難解なものにならないよう心掛けますが、専門的内容を含むことをご了承ください。

【選考方法】

募集人員を超えた場合は抽選により決定

8 現代日本語の分析

【講師】	小川 晋史		
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）		
【募集人数】	3名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門		

日本語学概論を受講済みの学生の必修科目です。日本語の共時的分析について基礎的な概念から一歩踏み込んだ分析例や一般化を示します。日本語学概論の受講をしてなくても講座はとっていただけますが、日本語学の基本的な知識はあった方がいいと思います。

【テキストについて】

『新しい日本語学入門（第2版）』（2,200円＋税）（庵功雄[著]、スリーエーネットワーク）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（300字程度）により決定

9 近代文学史

【講師】	五島 慶一
【日時】	9月30日～・毎週月曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って近代文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とします。特段の予備知識は必要ありませんが、内容は専門的なところでまで踏み込むことがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

10 中世文学講読

【講師】	鈴木 元
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	3名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

連歌という文芸をめぐり、その発生から史的展開を追いつつ、諸芸能との関わりなどに及ぶ予定です。具体的な作品、連歌論という理論書テキスト、日記などの史料、関連作品 (関連文献) を読んでいきます。古語についての知識があることが望まれます。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

11 英米文学多読入門

【講師】	吉田 希依
【日時】	10月3日～・毎週木曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	3名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

翻訳を用いて英米文学作品を多読する、英米文学の入門として位置付ける授業です。ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学びます。

受講生の人数にもよりますが、学生の発表形式で進める予定です。

【テキストについて】

『しみじみ読むアメリカ文学』(2,300円+税) (平石貴樹/編、松柏社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

12 日本文化論Ⅱ

【講師】	羽鳥 隆英
【日時】	9月27日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

熊本藩細川家に由縁の元禄赤穂事件 (1701年～1703年) に取材した「忠臣蔵」の歴史を概説します。日本語を活用した文学、演劇、演芸、映画などの様々な媒体を議論の対象に設定し、「忠臣蔵」と日本社会、特に近代日本社会の相関性を議論します。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

13 人間と芸術

【講師】	永田 郁		
【日時】	9月30日～・毎週月曜日 3時限目（12：50～14：20）		
【募集人数】	10名まで	【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養		

本講義は「人間と芸術」というテーマのもと、人間が社会の中でいかなる芸術もしくは視覚的イメージを創造したか、また人間にとって芸術・視覚的イメージがどのように使われ、理解されてきたかについて、日本を含むアジア世界及び西洋世界の具体例を取り上げ、探っていく。

【選考方法】

抽選により決定

14 現代世界と歴史

【講師】	大島 明秀		
【日時】	10月2日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）		
【募集人数】	若干名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級／一般教養		

帝国日本が断行した数々の政策と歩みを確認しながら、敗戦国として復興の道を模索した戦後日本の営為と軌跡を、複数の視点から見ていく。また、戦後ドイツとの比較を通して、戦争責任や外国籍者受け入れなど現代日本が直面している諸問題について考えることも課題とする。

【選考方法】

受講希望の理由書（400字程度）により決定

15 中国文化論Ⅱ

【講師】	山田 俊		
【日時】	10月3日～・毎週木曜日 5時限目（16：10～17：40）		
【募集人数】	5名	【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門		

中国の古典文献を調べ読む際の様々な方法・資料などについて学び、自分一人で中国の古典などを調べることができるようになる知識を学びます。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

16 建築環境工学Ⅱ

【講師】	辻原 万規彦		
【日時】	9月27日～・毎週金曜日 1時限目（8：40～10：10）		
【募集人数】	数名程度	【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門		

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるように、できるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境（第4版第2刷2024年3月発行）』（2,800円＋税）（今村仁美・田中美都〔著〕、学芸出版社）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

17 家庭機械・電気

【講師】 齊藤 弘順

【日時】 9月30日～・毎週月曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 10名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

衣食住の観点から家電製品を分類し、それぞれの家電製品について、中学校程度の理科の知識をベースにその動作原理を解説する。動作原理を知ること、省エネについては、世界的なエネルギー・環境問題への対策として市民レベルで（普段の生活の中で）できる事項を考察する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

18 地域景観計画学

【講師】 柴田 祐

【日時】 10月3日～・毎週木曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

19 公共政策論Ⅱ

【講師】 井寺 美穂

【日時】 9月27日～・毎週金曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本科目では、公共政策がどのようなアクターのもと、どのように形成され、そして決定、実施、評価されているか、そのプロセスを科学的に分析・検討します。その上で、身近な社会問題を題材に、政策の立案に取り組みます。

【選考方法】

抽選により決定

20 憲法Ⅱ

【講師】 佐藤 雄一郎

【日時】 9月27日～・毎週金曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 10名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本国憲法が定める統治機構について、詳しく講義します。具体的には、国会、内閣、財政、地方自治、裁判所、天皇、平和主義について、判例や学説そして実務や政府見解等を交えて、詳しく講義します。

【選考方法】

受講希望の理由書（字数や書式は問いません）により決定

21 都市居住政策学

【講師】 鄭 一止

【日時】 9月30日～・毎週月曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 初級/専門

空き家再生、まちづくり、都市デザイン、設計など縮小社会の課題解決に向けて取り組んでいる方々を招き、現場でのリアルな状況やノウハウについて教えてもらいます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

22 生命倫理と法

【講師】 江崎 一郎

【日時】 10月2日～・毎週水曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 20名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

生命倫理における多様な問題について考察する。『医療倫理学』を解読することを通じて、私たちが近代的市民として身に着けるべき生命倫理と法に対する認識を深める。

※受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更あり。

【テキストについて】

『生命倫理学を学ぶ人のために』(2,300円+税)(加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(50字程度)により決定

23 地域づくりと協働

【講師】 澤田 道夫

【日時】 10月2日～・毎週水曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

協働とは国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことでより良い地域を作り上げていく取組です。本講義では地方自治に関する基本的な知識を踏まえ、地域づくりにおける協働の持つ意義と協働を進めるための条件について理解を深めることを目標とします。

【テキストについて】

『真・自治行政構想の奇跡』(2,600円+税)(荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

24 アジア地域論

【講師】 高埜 健

【日時】 10月2日～・毎週水曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

「発展著しい」と注目されるアジア諸国・地域を包括的・多角的に理解しようと試みるのが本講義の目的である。同時に「アジアの中の日本(人)」を再確認することも目的の一つである。専門的な知識を必要とする時もあるが、何よりもアジアに対する強い興味関心があれば十分受講可能である。映画や音楽も鑑賞する。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

25 原価計算論

【講師】	望月 信幸
【日時】	9月27日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義します。最終的に、原価計算の理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記程度の知識習得を目標としています。なお、講義の中で計算を行うことが多いため、毎回必ず計算用具を準備してください。

【テキストについて】

『テキスト原価会計 第2版』(2,200円+税) (高橋賢、中央経済社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

26 簿記概論

【講師】	山西 佑季
【日時】	9月27日～・毎週金曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

本講義では、簿記・会計に関する基礎的な知識の習得を目的としている。具体的には、小規模企業において必要な日々の会計処理方法、およびその記録に基づく貸借対照表・損益計算書の作成方法について学習する。

【テキストについて】

『スッキリわかる 日商簿記3級(最新版)』(1,100円+税) (滝澤ななみ、TAC出版)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

27 アルゴリズム論

【講師】	金井 貴
【日時】	10月1日～・毎週火曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

アルゴリズムとは、問題を解決するための手順のことである。本講義では、情報処理を効率的に行うために必要とされる、様々なデータ構造とアルゴリズムについて学ぶ。

【テキストについて】

『アルゴリズムとデータ構造 第2版』(2,800円+税) (藤原暁宏、森北出版)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定